



谷口 和弥 議員
(拓政会)



町民が主体的に健康づくりに取り組むことにより、健康寿命の延伸を目指すことを掲げた第2期「まくべつ健康21」が、10力年計画の中間点を迎えようとしている。計画の基本目標である「健康寿命の延伸」の達成に向け、行政の巧みな手腕に期待をしている。

(1)今年度新たに開始した「まくべつ健康ポイントラリー」の参加状況は。
(2)健康づくりを支えていく環境づくりに向けた諸団体との連携の状況は。

町長(1)「まくべつ健康ポイントラリー」は、健康に配慮した生活習慣を身につけるきっかけづくりや、各種健康診査の受診率向上による健康寿命の延伸を目的として、20歳以上の方を対象に、各種健康診査や健康づくり講座等に参加することによってポイントを付与し、6ポイントを集めると、特典として、全員に町指定のゴミ袋



まくべつ健康ポイントラリー(チラシ)

問 健康寿命延伸に向けた健康づくりのために
答 事業の周知を行い、町民の健康意識が高まるよう努めていきたい

や、抽選により町商工会発行の商品券を贈呈するもの。6月1日現在で379人の参加となっており、年度当初から窓口でのチラシの配布やしらかば大学でのPR、さらには、町の健康診査では特設の受付窓口を設置したほか、特典内容を町指定のゴミ袋や商品券など身近なものとしたことで、昨年度の「北海道健康マイレージ事業」の参加者59人と比較し、大幅に増加している。6月以降は各種健康講座が開催され、より多くの方に参加いただけるものと見込んでいます。今後も事業周知を行い、町民

問 町民の期待に応えるプール開設を
答 基本構想・計画を立てる時点で意見交換し計画を固めたい

の健康意識が高まるよう努めたい。
(2)医療機関、学校関係者や町社会福祉協議会、町老人クラブ連合会などで構成する「幕別町健康づくり推進協議会」を計画の推進組織として位置づけ、健康づくりの推進方策について検討している。また、幕別町食生活改善推進員協議会、各種ボランティア団体とも連携し、食育を通じた健康づくりの推進体制も進めている。



今年1月に開催された「幕別町総合教育会議」では、老朽化した札内地区にある東、南、北の3町民プールを一つに統合して通年で開設する温水プールとすると計画変更し、「学校プール」として平成32年度オープンを目指し建設すると討議されている。多

くの町民が関心を持ち、期待をしている公共施設である。
(1)1月以降のプール新設計画の議論の経過は。
(2)幕別町の小学生の泳力は学習指導要領の目標に到達しているか。
(3)新設プールの学校授業以外の利用に係る計画は。



教育長(1)教育委員会内部で、新設プールの規模や構造、財源となる補助金などについて調査研究を進めている。6月23日に開催の幕別町総合教育会議において札内地区のプールの現状を視察し、町長と意見交換を行う。

(2)平成28年度の町内の小学生の目標到達状況は、全小学校の平均値で、1学年で83・6%、2学年で91・3%、3学年で86・7%、4学年で91・3%、5学年で90・5%、6学年で94・9%の児童が目標に到達している。
(3)プールを整備する場合は、学校プールとしての整備を検討しており、整備費の財源に文部科学省の「公立学校施設整備費補助金」の活用を見込んでいます。補助対象事業の条件として、プールの使用は学校での使用を最優先とすることになるが、学校での利用のない時間帯や期間には、一般の方々にも利用いただける。